

# 市営桜木駐車場用地活用によるMICE対応施設の誘致について

## 次 第

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 議 事

(1) 土壌分析調査の報告

(2) 市営桜木駐車場用地の有効活用について

(3) 質疑応答

### 3 閉 会

#### 【資料】

1. 次 第

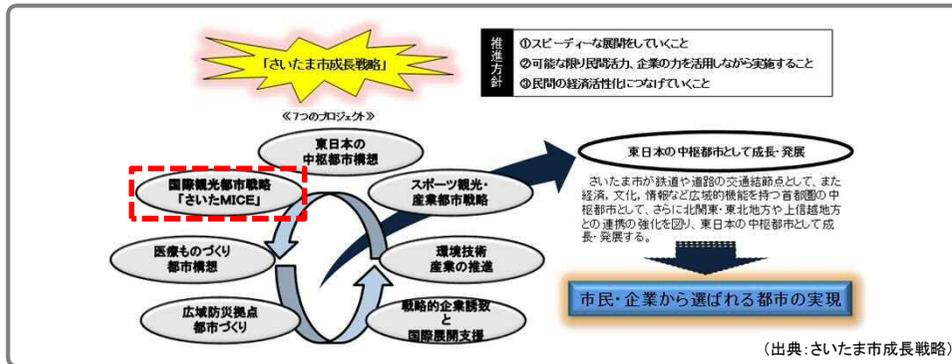
2. 市営桜木駐車場用地活用によるMICE対応施設の誘致について

(参考資料)

・平成28年8月4日記者発表資料

# 市営桜木駐車場用地活用によるMICE対応施設の誘致について

## 1. 市としての位置づけ



本市では「さいたま市長戦略」において、7つのプロジェクトの一つに、国際観光都市戦略「さいたMICE」を位置付け、国際シティホテルの誘致及びコンベンションセンターの整備を推進することとしている。

### さいたま市長戦略(7つのプロジェクト)

#### 国際観光都市戦略「さいたMICE」

国際シティホテルの誘致  
及びコンベンションセンターの整備

## 2. 背景

#### 首都圏広域地方計画における本市の位置付け

東北圏・北陸圏・北海道連結首都圏対流拠点の創出プロジェクト  
～東日本の玄関口機能を果たし、スーパーメカリジョンを支える対流拠点の創出～

**2. 対流拠点機能の集積強化**  
○東日本における歴史・文化、芸術、物産及び人材等の地域資源の相互活用によるヒト、モノ、情報の交流促進、企業活動の活性化、観光コンテンツの充実・連携による広域周遊観光ルートの構築を図るとともに、北海道、東北、上信越・北陸地方の主要都市間連携の場の構築とMICE等の対流拠点機能を整備する。

#### 交通政策審議会答申における大宮駅の位置付け

広域的な交通ネットワークの拠点となる駅におけるプロジェクト  
・北海道・東北・上陸・北陸新幹線の発着駅であるとともに、JR各路線や東武鉄道も乗り入れる東京圏北部の交通の要所。  
・東武大宮駅の移設等による鉄道路線間の乗換改善や東西連絡通路及び東口駅前広場の整備等による回遊性の向上が図られることを期待。

(出典:首都圏広域地方計画、交通政策審議会答申)

#### 政府は、観光ビジョンの中で訪日外国人旅行者数の目標値(2020年)を2,000万人から4,000万人に上方修正

新たな目標への挑戦!

訪日外国人旅行者数	2020年: 4,000万人 (2015年の約2倍)	2030年: 6,000万人 (2015年の約3倍)
訪日外国人旅行消費額	2020年: 8兆円 (2015年の約2倍)	2030年: 15兆円 (2015年の約4倍)
地方圏での外国人観光客数	2020年: 7,000万人泊 (2015年の約2倍)	2030年: 1億3,000万人泊 (2015年の約4倍)
外国人リピーター数	2020年: 2,400万人 (2015年の約2倍)	2030年: 3,600万人 (2015年の約3倍)
日本人国内旅行消費額	2020年: 21兆円 (2015年の約2倍)	2030年: 22兆円 (2015年の約2倍)

(出典:政府観光ビジョン)

- ✓東日本の各圏域が連携・融合する対流拠点としての役割
- ✓地域経済の活性化のため訪日外国人を中心とした宿泊需要に対応する
- ✓国の重要政策課題における拠点として本市への期待に応える

## 3. 目的・基本方針等

2020年までの開業を目指して、民間の知恵・技術・経験を活かした手法によるMICE対応施設を誘致する。

### (1)施設誘致の目的

鉄道や高速道路などの交通利便性が非常に高い本市の優位性を活かして、人・モノ・情報の対流をより一層促し、新たなビジネス機会やイノベーションの創出に貢献するとともに、東日本の中枢都市としてのプレゼンスやブランド力の向上のために、MICE対応施設を誘致する。

### (2)施設誘致の基本方針

- ① 市の政策目的の実現と地域の活性化につなげる
- ② 国等の政策や事業との連携を図る
- ③ 民間の力を活かし、最小の行政負担で大きな効果を発揮する

### (3)施設誘致の効果

- ①MICE需要の獲得
  - ・周辺施設との連携も視野に入れてMICEの誘致を促進するとともに、現状でMICE対応施設への需要に応えられていない中規模程度のMICEの需要を獲得。
- ②ビジネス交流の機会の創出と企業誘致の推進など
  - ・市内企業を中心にビジネスマッチングの場の提供や、一般向けイベントによる経済波及効果。
- ③新たな対流拠点としての役割の達成
  - ・既存施設との連携による大規模MICEの誘致、MICE分野における新たな拠点の創出。

## 4. 施設の誘致場所

(平成25年度)MICE推進方策基礎調査  
(平成26年度)ホテル誘致等庁内検討会

(平成27年度)  
MICE需要調査、  
桜木駐車場用地活用プロジェクトチーム

MICE需要/  
宿泊需要への  
早期の対応

周辺施設との  
機能分担・連携

MICE対応施設の誘致位置を  
「市営桜木駐車場用地」とする。



# 市営桜木駐車場用地活用によるMICE対応施設の誘致について

## 5. 施設の機能等の想定

MICE対応施設として、宿泊施設と催事用多目的施設\*等を導入する。  
\*企業等の会議、報奨・研修旅行、国際会議、展示会・見本市、イベントなど多様な事業が展開できる施設。

### ①催事用多目的施設

機能	想定する用途	考え方
無柱空間 平土間形式	会議、学会、見本市、展示会、興行利用など	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺施設との連携も視野に入れて、MICE対応施設への需要に応えられていない中規模程度のMICEの需要を獲得。</li> <li>平土間形式により見本市、物販イベントやコンサート、スポーツイベントなどコンベンションに限らない多分野の催事で活用。</li> <li>会議室は、分科会やバンケットとしての利用も想定。</li> </ul>
会議室	会議、分科会、商談会、バンケット、控室利用など	

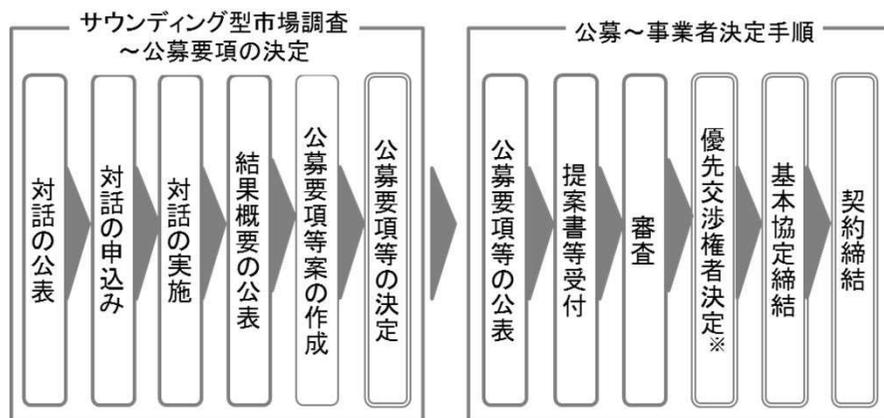
### ②宿泊施設

機能	想定する規模	考え方
ビジネスユースを軸にVIP対応を考慮	200室程度の客室	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存施設は、通年において、ビジネスユース中心に稼働率が80%程度で推移。</li> <li>MICE開催には、来賓、出演者などある程度VIP対応が必要。</li> <li>MICE参加者の宿泊需要に対応するために、宿泊施設が隣接することが望ましい。</li> </ul>

■導入する機能の詳細は、民間事業者へのサウンディング型市場調査等を経て、決定する。

## 6. 提案事業者の公募手続等

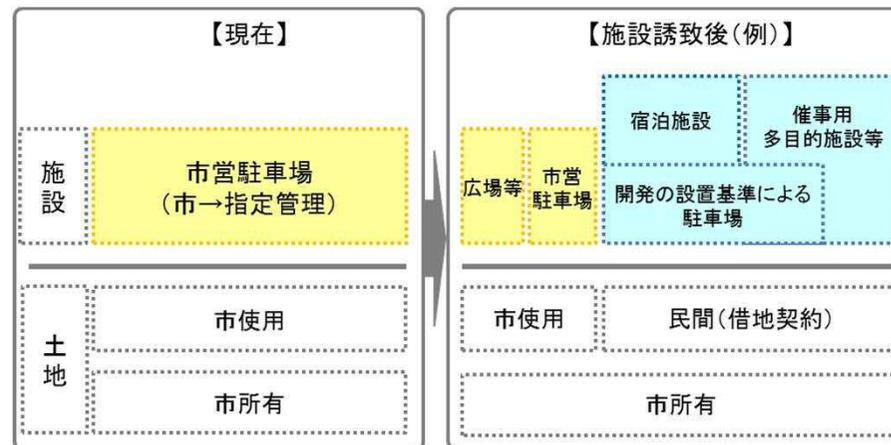
誘致の目的を満足しつつ、民間事業者から自由な提案がなされるような公募条件等を検討するためにサウンディング型市場調査を経て、募集要項等を検討し、公募する。



※「公募による普通財産貸付要綱(平成26年2月1日施行)」に定められた審査選定委員会

## 7. 事業スキームのイメージ

民間の力を活かし、最小の行政負担で大きな効果を発揮するために、民間からの多様な提案を求め、実現可能なスキームを検討していく(下図は検討中のイメージ)。



■誘致の目的を満足しつつ、民間事業者が参画できるように、必要に応じて市として可能な支援措置を検討する。

## 8. スケジュール

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年の開業を目指して、平成28年度中に用地貸付相手となる事業者を決定する。

